

次世代の陸上戦闘員システムの実現に
向けて
～先進個人装備システム～

先進技術推進センター
研究管理官(ヒューマンエンジニアリング技術担当)付
人間工学技術推進室
防衛技官 柳原 康功

先進個人装備システムとは・・・

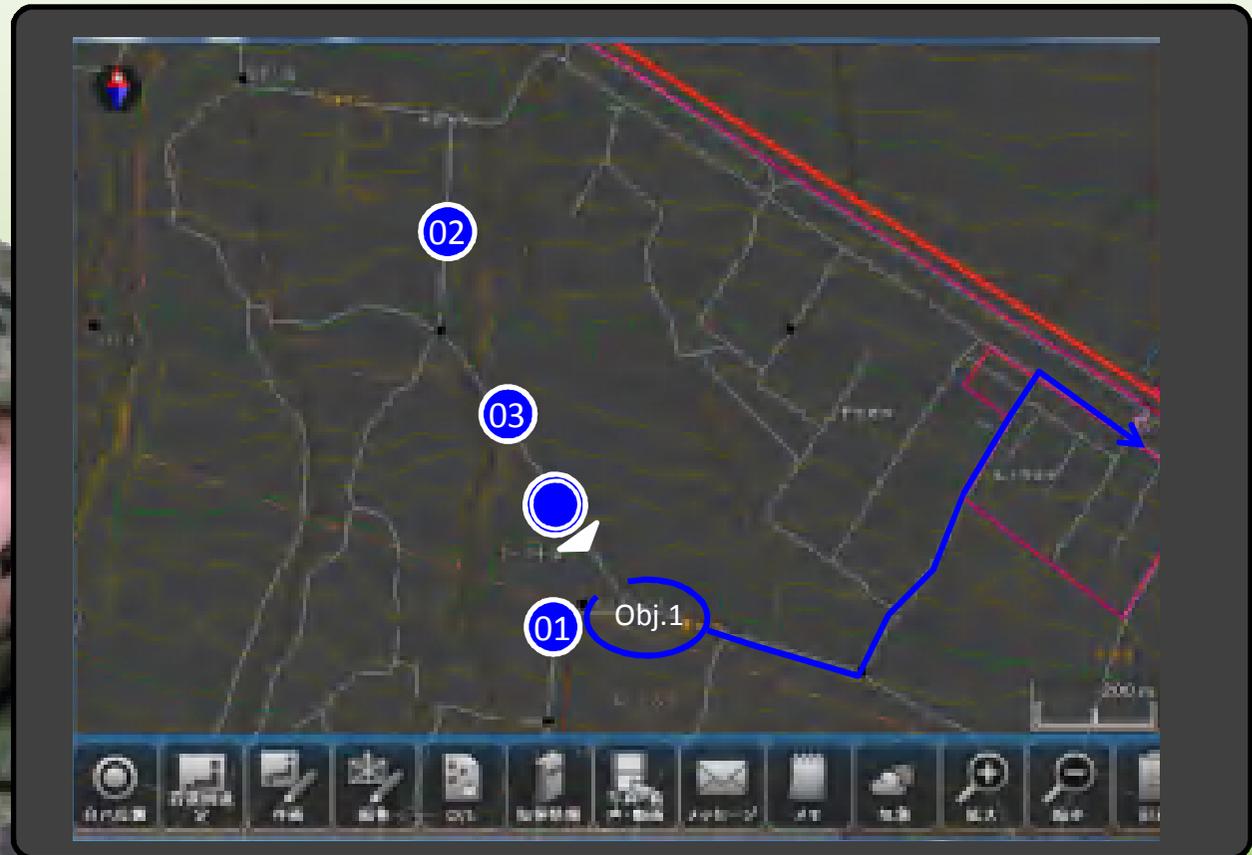
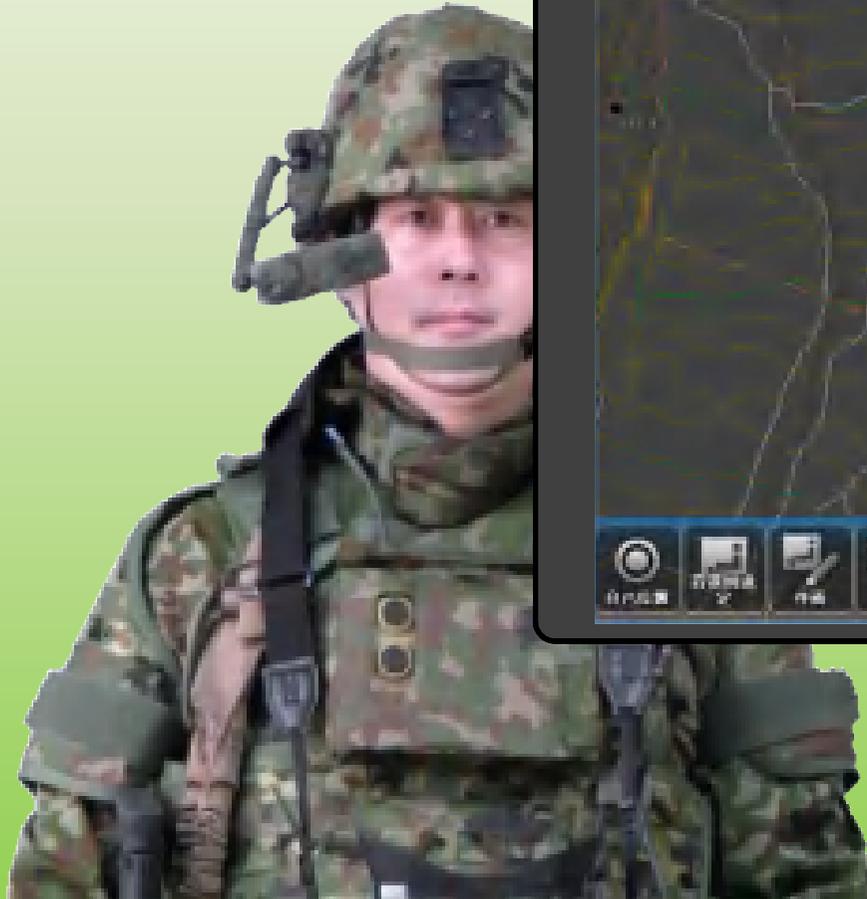
携行装備質量の増加を必要最小限にとどめ、可能な限り操用性を損なうことなく各隊員の防護力及び攻撃力を向上させるとともに、各種先進技術を取り入れることにより、多様な戦場下において任務を効率的に遂行できる人間工学的に優れた将来個人装備システムに関する研究です。



先進個人装備システムの主要構成部品



先進個人装備システムの情報機器としての 主要な機能



先進個人装備システムで実施中の 性能確認試験について

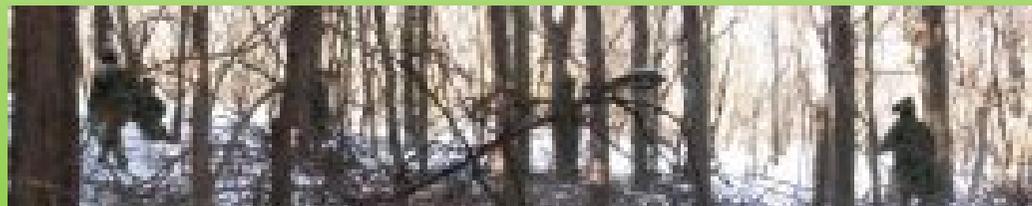
- 技術的な達成度に関する検証

自己位置表示、作図、目標情報の取得機能
や通信性能等、機能・性能の確認

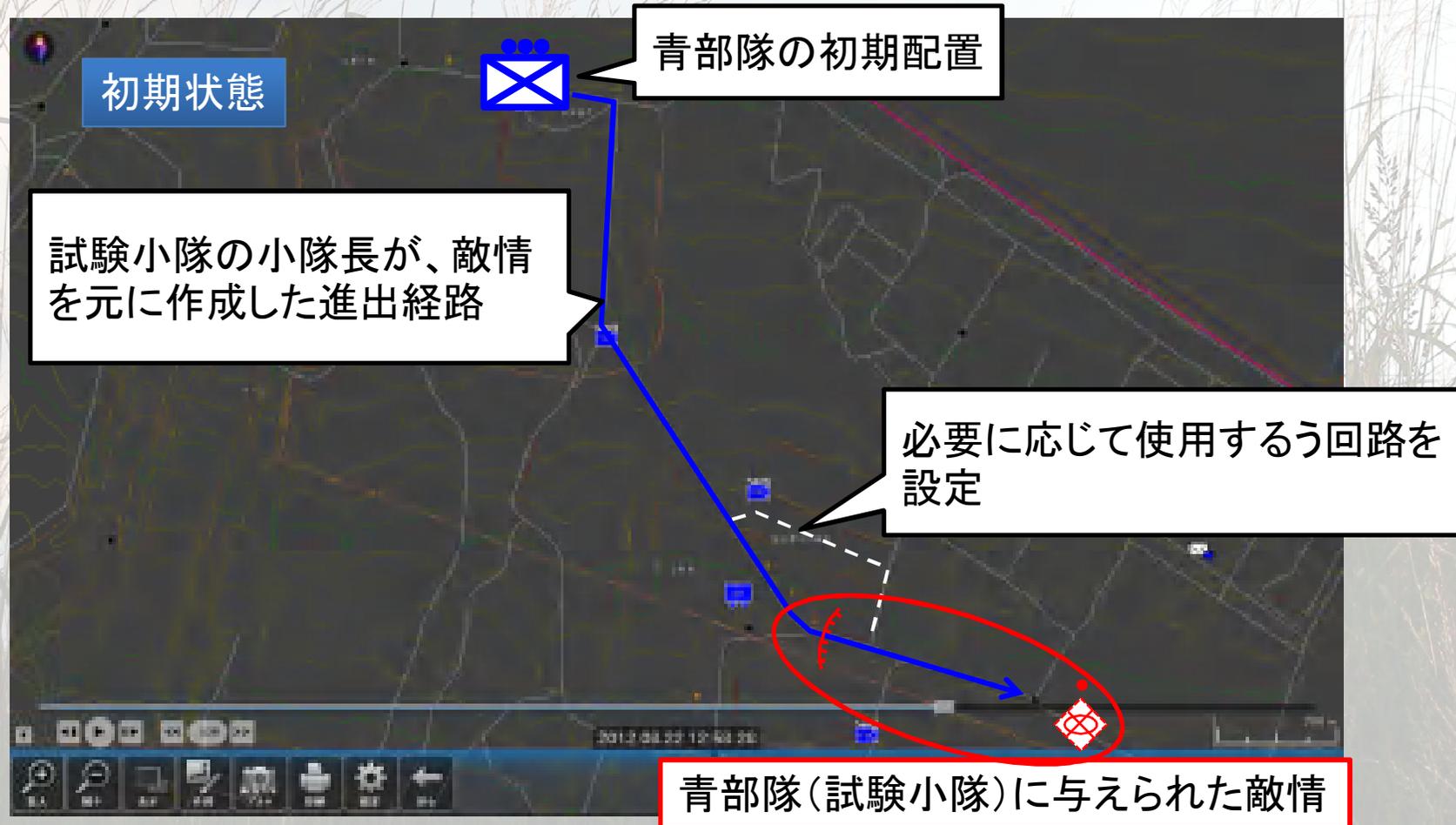


- 運用上の効果に関する検証

任務シナリオに基づく部隊行動を通じた、
各種機能・性能の検証

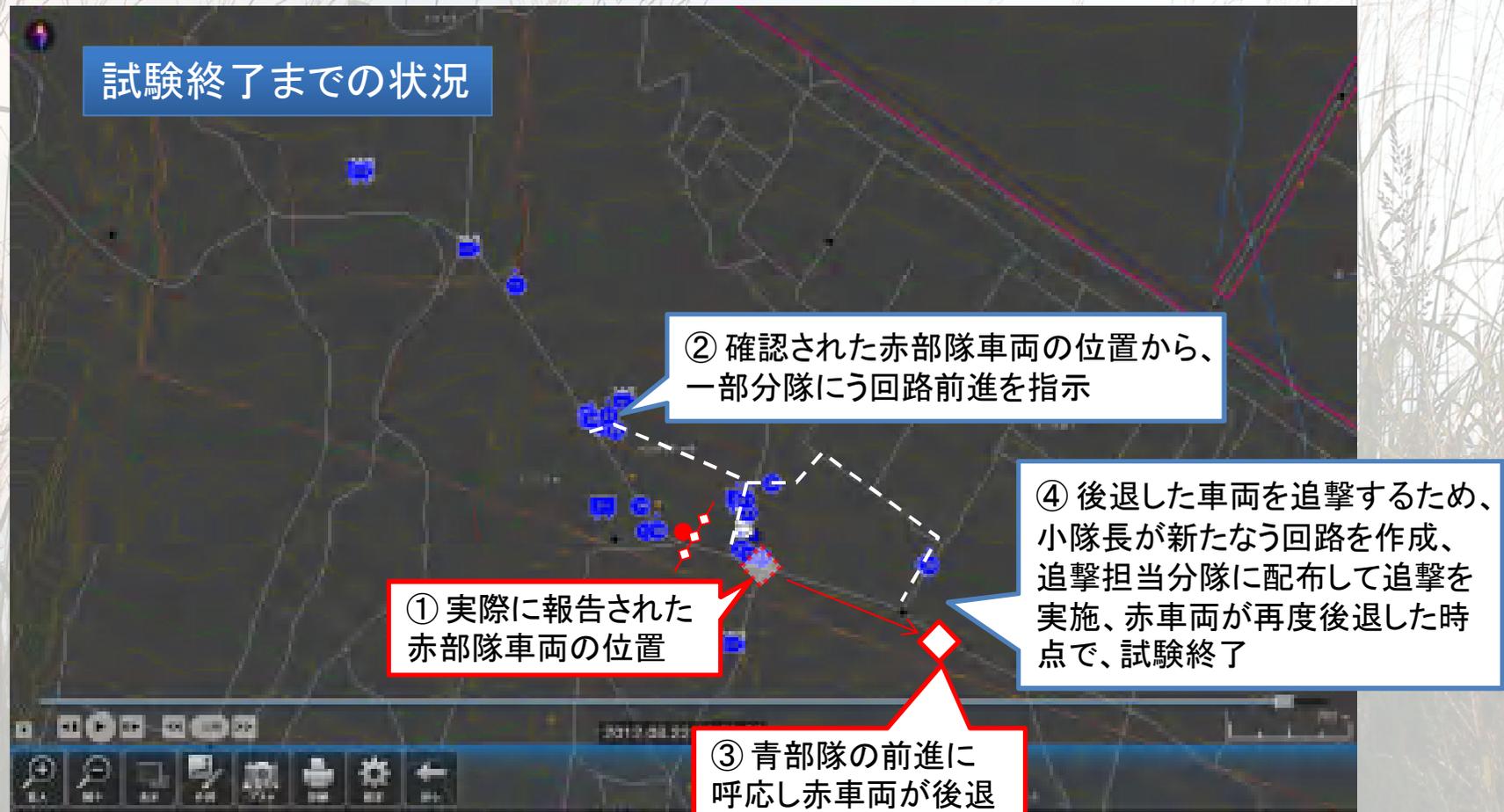


運用上の効果に関する検証の実例



試験小隊の小隊長は、与えられた敵情を元に部隊の前進経路(計画)を作成し、指揮下にある分隊長及び分隊員に配布し、行動を開始した。

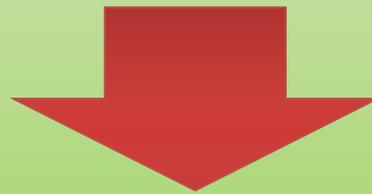
運用上の効果に関する検証の実例



試験小隊は、先進個人装備システムの表示部を通じてもたらされる各隊員の位置情報により、従来よりも円滑かつ正確に戦況を把握し、部隊行動を行うことができた。

先進個人装備システムを用いた 部隊行動の特徴と今後の展望

- 現在地の確認・報告回数が減少
- 敵情の共有及びそれに基づく作図と音声による適時的確な指示
- 指示に基づく正確・迅速な部隊行動



将来的には、任務遂行においてゼロ・カジュアルティ
(隊員の被害局限、生命保持)が可能となる。